

議会改革・活性化調査特別委員会記録【概要】

- 1 日 時 令和8年6月25日（木曜日）
午前 11時31分 開 会
午前 11時56分 閉 会
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席委員
委員長 伊 藤 優 子 副委員長 高 塚 広 義
委 員 野 田 明 里 委 員 片 平 恵 美
委 員 合 田 晋一郎 委 員 河 内 優 子
委 員 田 窪 秀 道 委 員 山 本 健十郎
委 員 伊 藤 謙 司 委 員 大 條 雅 久
- 4 欠席委員 な し
- 5 説明のため出席した者 な し
- 6 議会事務局職員出席者 局 長 沢 田 友 子 課 長 松 平 幸 人
副課長 堀 田 憲 司
- 7 その他出席議員 議 長 藤 田 誠 一
- 8 本日の会議に付した事件 (1) 議会改革・活性化に関する調査

9 概 要

(1) 議会改革・活性化に関する調査 議員報酬について

（委員長）本日の委員会は議会の組織構成に関すること、議員報酬について協議を行う。議員の皆さんからのアンケート結果について、事前に資料を配付したが、資料について議事課長から説明させる。

（議事課長）＜アンケート結果説明＞

（委員長）それでは協議に入りたいと思う。こちらのアンケート結果を踏まえ、議員報酬について皆さんからの意見を伺う。

（委員）質問だが「若手の議員の成り手不足の解消のため」という意見があるが、新居浜市は特別に県内で議員報酬が低いわけではなく、むしろ高い方だと思う。その上で他市と比べて、新居浜市は若手の立候補が少ないという、そういうデータがあるのか？

（委員）無いと思われる。

（委員）では、主観か。

（委員）あくまでアンケートの一意見であると思われる。

（委員長）誰のアンケート（回答）かは分からない。

（委員）実際そのデータがあるかないか、もしあるのであれば、考えるべきであると思った。

（委員長）憶測だが、今民間の方も給料は上げなくてはいけないということで、上がってきていることもあり、この方は議員も上げないといけないと思ったのではないか。

（委員）私の記憶では平成３年に、落選は一人だけだった。後の選挙は全部、先ほど他の委員さんが言ったように「立候補者が居なくて困っている」ということはない。どちらにしても（議員報酬を）上げたのは松山・今治、これまで今治とは２千円ぐらいの差だったと思う。民間が（賃金上昇）４年とか３年連続で５％、それぐらい上がっているし、この前も言ったように、市民の方から「なんで市会議員の給料上げるのか？」という声は無いと思う。いずれにしても報酬等審議会は開いてもらう必要があると思う。（直近では）松山市、今治市の見本がある。

（委員）ずっと思っていたが、そもそも世代間で「物差し」が違う。３０代から見れば議員報酬は「多い」が、民間企業で給与が上がる５０代半ばから見れば「安い（その程度しか貰えないの？）」となる。回答者の年齢や経済状況（分母）がバラバラなため、アンケートを取っても意味がなく、意見がまとまるはずがない。利害関係のある議会ではなく、外部の「よそ」で客観的に金額を決めてもらえば良いと思う。

（委員長）アンケートの結果によると、「増額した方が良いが１３人」で、「現状のままだが１０人」という結果になっている。先ほどお２人が言われたように、報酬等審議会に委ねるというご意見があるが、その声に対する意見はあるか。

（委員）報酬等審議会に諮るときに、「議会の中では増額した方が良いという人が多い」という枕言葉は付けないという理解で良いか。

（委員）そういう方向で行くとしたら、どういった段取りでやろうとしているのか。

（委員長）報酬等審議会の開催について、市長に要望するという形になると思う。

（委員）その方向で良いと思う。

（委員）令和３年から報酬等審議会が止まっているのだから、きちんと開催して欲しいと。これ、議員云々ではなく、与えられたことをして欲しいと言って欲しかったら良い。

（委員）少し前のやりとりに戻るが、報酬等審議会は当然開いてもらうべきだと思っているが、その報酬等審議会に対して委員長なり議長が、どういう言葉を添えるのかという点で言えば、高い安いを言う必要は無いかと思うが、この２０年間の新居浜市の議員報酬の状況と一緒に、人事院勧告に対して、どういう対応をしてきたかということは申し添えて欲しい。各市の議員報酬というのは、それぞれ町の歴史があって、起点が違うので比較してどうこうということではなくて、新居浜市のこれまでの議員報酬の流れ。２０年前からどうなのかということと同時に、途中の人事院勧告をあえて織り込まなかった経緯、これを見た上で判断して欲しいと思う。

（委員）若い人が「なりたいか、なりたくないか」というところで、正直兼業せずに、市議会議員だけで子供を育てながら１馬力でとなると、正直カツカツ、というかも全然生活は回らない。もちろんいただいている金額は多いとは思いますが、先ほど他の委員が言っていたように同年代の同じようなカテゴリーの人たちの中ではたくさんもらっているが、その分税金として支払うものがすごく多くて、さらに活動費用も割と自分のお財布から出すことが多く、活動しようと思えば思うほど、生活費がどんどん削られていく。決して子供たちにひもじい思いはさせていないし、最低限の生活はもちろんできてはいるが、しんどいなっていうところはすごく大きい。例えば年金であるとか、そういった保証が何も無いというところで不安はすごく大きいという意味で、若い人に「議員にぜ

ひなってください」と勧められるかという、3年、4年目やってみてちょっと勧められないなっているところがある。ただ、周りの人と比べたらもらっている金額自体は大きいので、そこに対して賛成が得られるかどうかというところを考えた時に、そこがまたすごく難しいと思う。議員「発」で「お給料上げてください。報酬を上げてください」というのはちょっと言いづらいところがある。ただ、今後のことを考えた時に、「若い人たちがどうやったらなりやすいか」というところを踏まえての議論というのはやっぱり必要だ、というのはすごく感じる。

（委員）この議論はここ何年かやってきて、前の時は「現状維持で」というようなこともあった中で、今回の会になっている。確かに審議会が長年開かれてないという状況があるので、審議会の中で審議していただきたいと思う。

（委員）先ほどの委員からもあったが、皆さんが議員に立候補して、どれだけ頑張ってきたかということも考える必要がある。もう一つは政党の皆さん、共産党さん、公明党さんなどは個人じゃなくてやっぱり政党の声になるので、政党の中で制約があると思うし、ある程度言いづらいところもある。どちらにしても先ほど言ったようにここ3～4年、5パーセントから6パーセント、一般労働者の賃金も上がってきた。ここでまず一つ言うべきなのは、新居浜市が議員定数を36からどんどん減らしてきて（来期から）24、これは認めてもらうべきだ。合併もたまたま別子山だけだったが、努力はしてきている。そこで議事課長に聞くが、松山と今治は本年度の報酬がどれだけ上がったか示して欲しい。

（議事課長）松山市の議員報酬は623,000円が648,000円で、令和8年5月25日から約2万円程度上がっております。今治市は492,000円から506,000円、令和8年4月1日から上がっております。

（委員）最初アンケートと今回のアンケートについて、会派の中で再度協議を行った。最終的には「市民感情的に、この時期どうなのか」みたいな意見が多く、議員のなり手不足という点でも、毎回新人さんが出ているという現状もある。先ほどの生活については正直な話、楽でもない。そのように考えると報酬等審議会の中で、しっかり現状を踏まえた上で「こういう意見もあります」ということを踏まえた上で、議員にしっかり立候補してもらえるような、そのような形になっていったら良いと思う。

（委員）今後は、ある程度（報酬や手当を）増やしておく必要があると考え、アンケートに回答した。あとは審議会に委ねるが、議員側の実情・背景も伝えていただきたい。

休 憩	午前 11 時 53 分
-----	--------------

再 開	午前 11 時 55 分
-----	--------------

（委員長）皆さんの意見をまとめると、報酬等審議会の開催について、市長に要望するということで良いか

[全員了承]

（委員長）なお、要望については議長と協議の上、詳細については、私に一任いただくということで、皆さんの了承をいただきたいと思うがいかがか。

[全員了承]

(委員長)では、そういうことで決定したいと思う。以上で本日の協議事項は終了する。

次回の委員会ではハラスメント防止についてご協議をいただきたいと思う。開催については改めて連絡する。本日はこれにて閉会する。